

企画展示「歴史のなかの馬」について

開催日：平成 26 年 1 月 6 日（月）～2 月 14 日（金）の平日
午前 9 時から午後 5 時まで

ところ：豊橋市文化財センター 1 階「企画展示室」
（豊橋市松葉町三丁目 1 番地 電話 0532-56-6060）

観覧料：無料

内容：古墳時代に大陸から招来されて以来、われわれ日本人の生活に「ウマ（馬）」は密接にかかわってきました。この展示では、古来より権威の象徴、大切な労働の助け、祈りの道具、親しみある玩具など、様々な姿をみせる馬について、考古資料、民俗資料をはじめとする文化財を通じてその魅力を紹介します。

<展示構成>

1、日本に「ウマ」がやってきた！（考古）

古墳時代に大陸からウマがもたらされた経緯を紹介します。

[主な展示資料]

経ヶ峰 1 号墳出土 轡（岡崎市美術博物館蔵）

三ツ山古墳出土 轡（豊橋市文化財センター蔵）

2、古墳時代の「ウマ」（考古）

豊橋市近郊で出土した馬具、馬形埴輪などを展示し、古墳時代の馬と人との関係を紹介します。

[主な展示資料]

外山 3 号墳出土 馬形埴輪（岡崎市美術博物館蔵）

郷ヶ平 6 号墳出土 馬形埴輪頭部（浜松市役所蔵）

峠場第 1 地点出土 馬形埴輪片（湖西市教育委員会蔵）

大塚南古墳出土馬具（豊橋市文化財センター蔵）

上向嶋 1 号墳出土 馬具（豊橋市文化財センター蔵）

山崎遺跡出土木製 馬具（田原市教育委員会蔵）

3、祈りの「ウマ」（考古）

古墳時代から古代にかけて、祈りの道具として用いられた土馬などの馬形製品や遺跡から出土した馬骨を展示し、人々の祈りと「ウマ」とのかかわりたどります。

[主な展示資料]

鉄馬（田原市教育委員会蔵）

湖西窯出土 陶馬（湖西市教育委員会蔵）

西畑屋遺跡出土 馬形土製品（浜松市博物館蔵）

舞阪町天白遺跡出土 陶馬（浜松市役所蔵）

中田古窯出土 陶馬（豊橋市文化財センター蔵）

写真パネル「吉田城址 馬頭骨出土状況」（豊橋市文化財センター蔵）

4、玩具の「ウマ」（民俗）

「ウマ」は身近で親しみやすい動物として、さまざまな玩具に利用されました。大口コレクションから「ウマ」の玩具を選び、その造形の楽しさを紹介します。

[主な展示資料]

郷土玩具 三春駒（豊橋市文化財センター蔵）

5、歴史にみる「ウマ」（歴史・民俗）

古文書や民俗資料から、豊橋市での歴史時代の人と「ウマ」との関わりを紹介します。

[主な展示資料]

多米区有文書 差出帳（豊橋市美術博物館蔵）

岩崎区有文書 村絵図のうち秣場（牛馬の餌場）の絵図
（豊橋市美術博物館蔵）

6、文化財の「ウマ」（文化財）

豊橋の文化財から「ウマ」を抜き出し、紹介します。

[主な展示資料]

写真パネル「金銅馬頭観音御正体」

（現品・東観音寺蔵、国指定重要文化財）

写真パネル「絵馬」（現品・東観音寺蔵）

複製品「絵馬」複製品（現品・大岩寺蔵、豊橋市指定文化財）

7、現代人と「ウマ」

現代人と「ウマ」のかかわりを紹介します。